

駝鳥魔術新聞

2026年
7月18日
土曜日

号外

広告

「オーストリッチ・ファクター マジック上達の秘訣」
いよいよ発売！ お求めは当店で！

謎多き商品「オーストリッチ・ファクター」とは何だ!?

マジケのサイトでは、出展者「山中くにと」のブース紹介に「ついに。マジックの本当の『秘密』、販売。」と記されている。ギミックなのかDVDの類なのかさっぱりわ

からない。そんな中、下村知行氏がいち早くレビューを書いたとの情報を得て、小紙はその全文を入手した。左にそれを公開する。



しもむらともゆき
《評者》下村知行

元・テンヨー 開発部。第29回石田天海賞受賞。日本語版『ターベルコース・イン・マジック 第8巻』編集者。「ピラミッドミステリー」や「モアイの謎」など、“世界ふしぎ発見!”を彷彿とさせるグローバルな不思議を生み出す一方、「マジカルバードウォッチング」のような超不思議なメンタルマジックまで名作多数。最近では、『もしも本当に超能力が使えるたら』『ゾディアックサイコメトラー 付・リーディング超入門』などのマジシャンをも驚かせる作品を生み出し続けている。

『オーストリッチ・ファクター
マジック上達の秘訣』日本語版
著・Gerald Edmondson
訳・山中邦人

「オーストリッチ・ファクター」とは、心理学でいう「ダチョウ効果(Ostrich effect)」のこと。目の前にある問題や危険を直視せず、やり過ごそうとする心理状態や行動パターンを指します。ダチョウが敵に直面したとき、頭だけを砂の中に突っ込んで現実逃避するという俗説に由来する言葉です。

「オーストリッチ・ファクター」とは、心理学でいう「ダチョウ効果(Ostrich effect)」のこと。目の前にある問題や危険を直視せず、やり過ごそうとする心理状態や行動パターンを指します。ダチョウが敵に直面したとき、頭だけを砂の中に突っ込んで現実逃避するという俗説に由来する言葉です。

著者から伺ったところによると、ここに書かれたアイデアは、

マジックをやり続けてきた方にこそ響く内容です。「そんなこと知っている。でも、ちょっと見ないフリをしていた」という、自分でもなおざりにしがちな「基本」を洗い出すことで生まれたものです。

『Magic and Showmanship』『Our Magic』『Tarbell Course in Magic』などの名著、そしてF・カッパスら名人の名言を引用しつつも、文章は非常に平易。一日あれば一気に読めてしまいます。

ラーの言う「マジシャンの遊び(マニアウケ)」ですか？ それとも「一般の人に向けた本番で披露できるレパトリー」ですか？

もし真のマジシャンを目指しているなら、本書を読んでみてください。きっと「誰かの真似」ではない、あなただけのマジックスタイルを作るヒントが見つかるはずです。

タイトルの「オーストリッチ・ファクター」とは、心理学でいう「ダチョウ効果(Ostrich effect)」のこと。目の前にある問題や危険を直視せず、やり過ごそうとする心理状態や行動パターンを指します。ダチョウが敵に直面したとき、頭だけを砂の中に突っ込んで現実逃避するという俗説に由来する言葉です。

本作は、五十年以上米国で活躍したプロマジシャンである著者が、「長年の経験や知識があるのに、なぜ期待通りの反応が得

られないことがあるのか？」という問いに真つ正面から向き合い、自身のパフォーマンスを徹底分析、自分自身も忘れがちな「基本」を洗い出すことで生まれたものです。

初學者の方が読んでも発見が多い本ですが、むしろある程度

「オーストリッチ・ファクター」とは、心理学でいう「ダチョウ効果(Ostrich effect)」のこと。目の前にある問題や危険を直視せず、やり過ごそうとする心理状態や行動パターンを指します。ダチョウが敵に直面したとき、頭だけを砂の中に突っ込んで現実逃避するという俗説に由来する言葉です。

「オーストリッチ・ファクター」とは、心理学でいう「ダチョウ効果(Ostrich effect)」のこと。目の前にある問題や危険を直視せず、やり過ごそうとする心理状態や行動パターンを指します。ダチョウが敵に直面したとき、頭だけを砂の中に突っ込んで現実逃避するという俗説に由来する言葉です。